

市制施行20周年記念事業に関するアンケート報告書

【アンケートの目的】

令和7年1月1日は、旧6町村が合併して市制施行20周年の節目を迎えることから、令和6年度を市制20周年の年度と位置づけ、各種記念事業や市民の皆さんが本市への誇りや愛着を共有化できる「市民憲章」の制定に向けて検討を進めており、市制20周年記念事業の参考とするため、本アンケートを実施させていただきました。

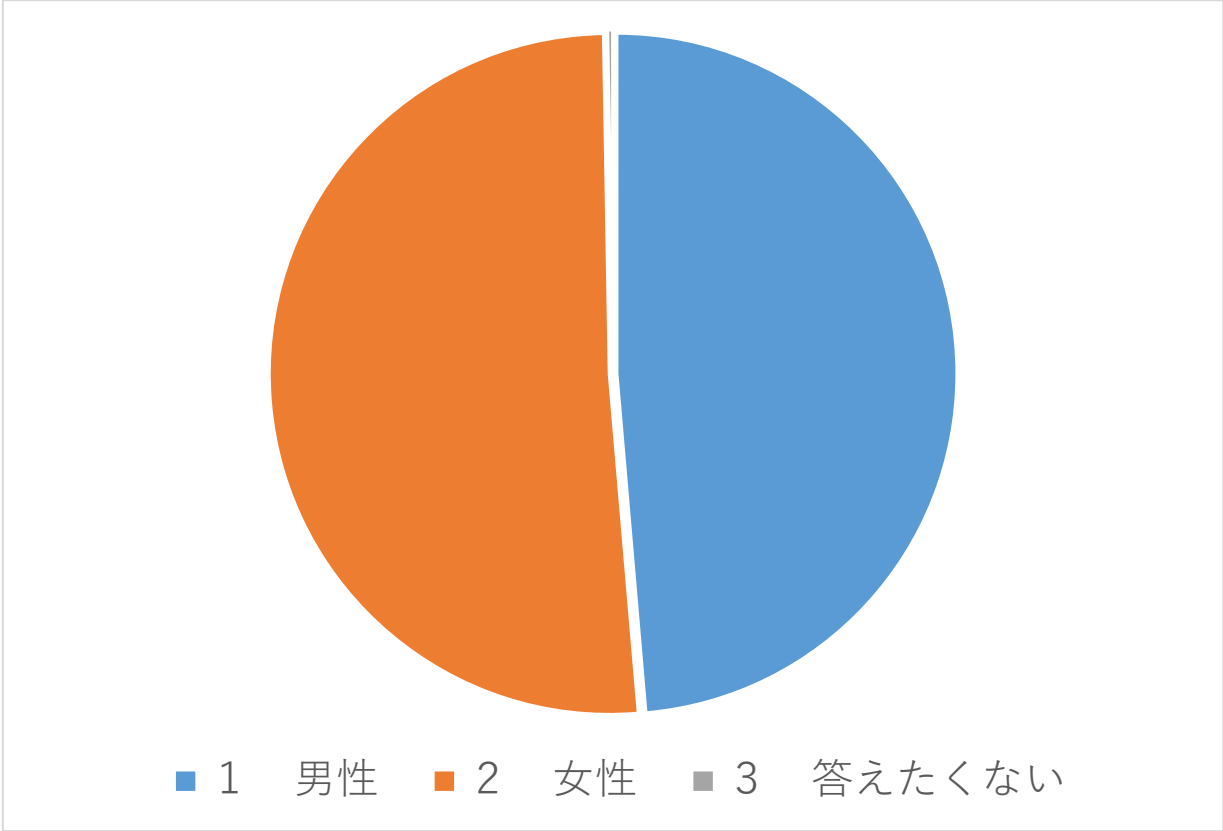
【実施期間】 令和5年5月25日（木）～令和5年6月16日（金）

【アンケート協力依頼者数】 748人

【回答者数】 368人（ネット回答257人・郵送回答111人）

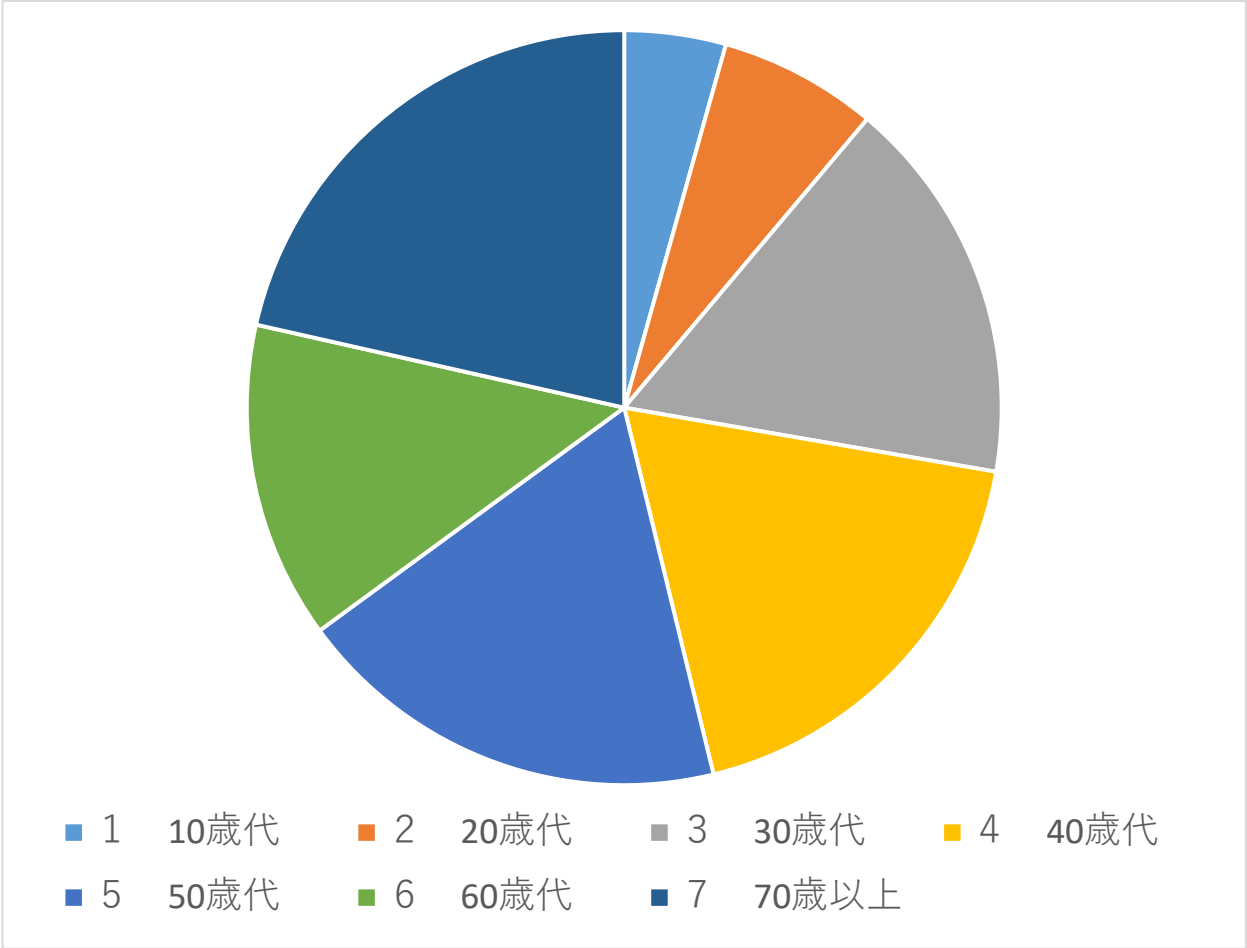
【回答率】 49.2%

【問1】 あなたの性別は？（あてはまる項目1つに○印）



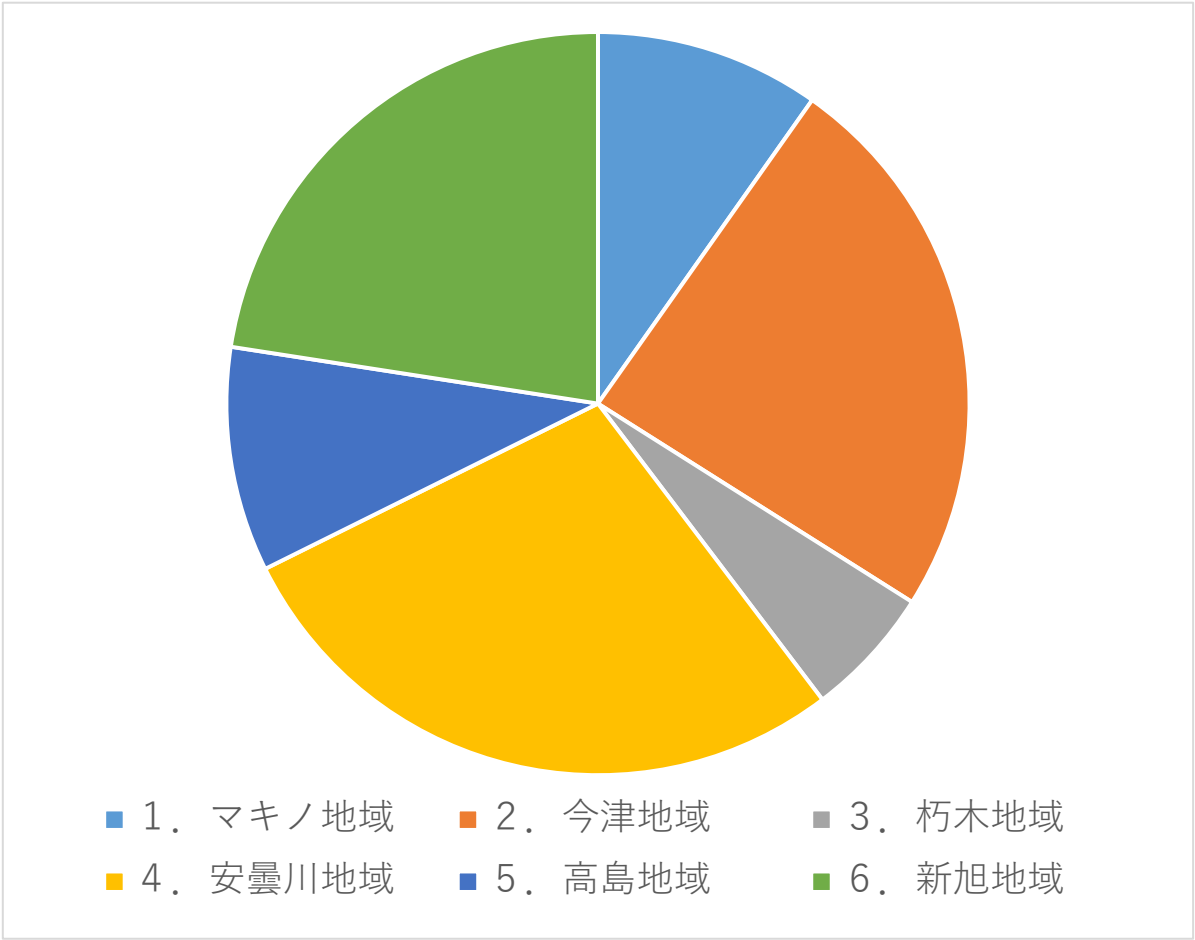
項目	割合
男性	48.6%
女性	51.1%
答えたくない	0.3%

【問2】 あなたのご年齢は？（あてはまる項目1つに○印）



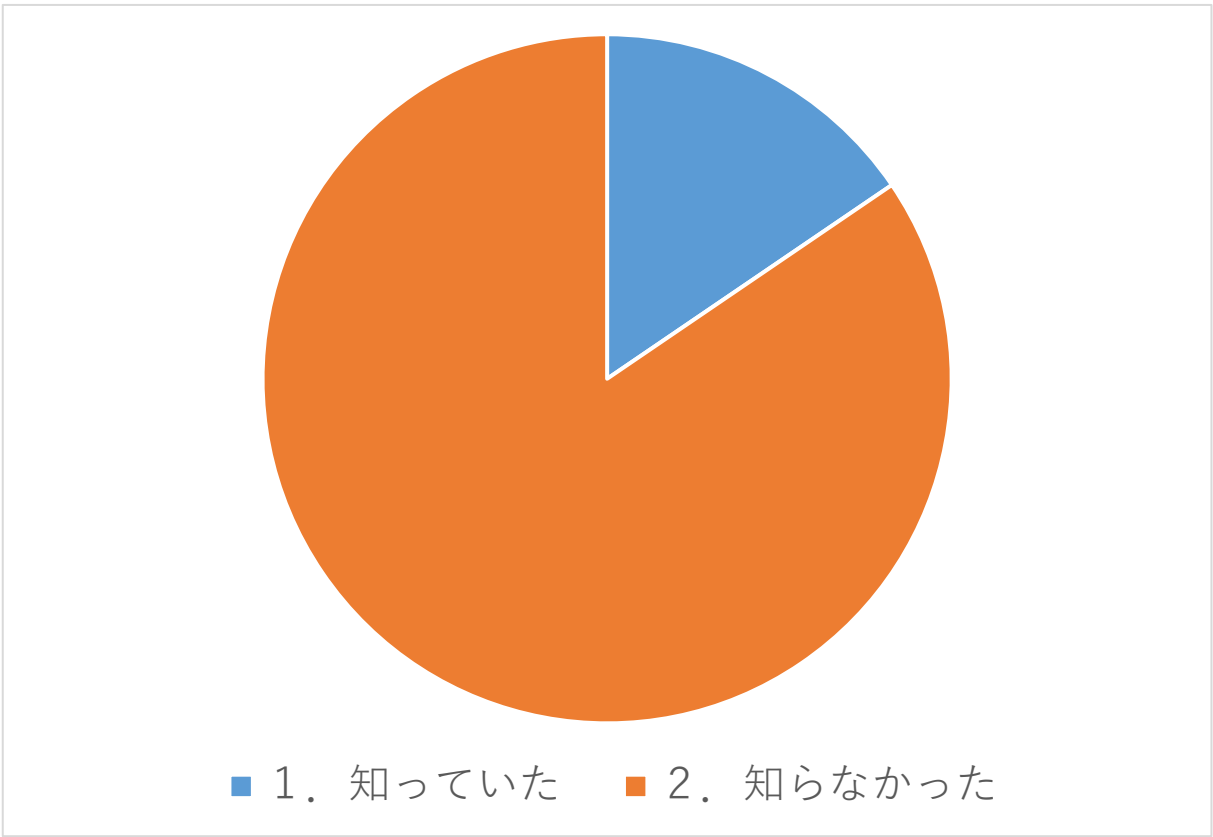
項目	割合
10歳代	4.3%
20歳代	6.8%
30歳代	16.6%
40歳代	18.5%
50歳代	18.8%
60歳代	13.6%
70歳以上	21.5%

【問3】あなたのお住まいの地域は？（あてはまる項目に1つ○印）



項目	割合
マキノ地域	9.8%
今津地域	24.2%
朽木地域	5.7%
安曇川地域	28.0%
高島地域	9.8%
新旭地域	22.6%

【問4】あなたは、令和7年1月1日で市制施行20周年を迎えることをご存じでしたか？（あてはまる項目1つに○印）



項目	割合
知っていた	15.5%
知らなかった	84.5%

【問5】合併後の市政を振り返り、印象に残っている出来事や事業などは？

※同様のご意見は集約および誤字・脱字等は修正しています。ご了承ください。

番号	内容
1	ペーロン大会
2	まちづくり交付金の交付による地域の各種活性化
3	今津西小、マキノ北小、広瀬小などの休校（廃校）
4	街がとてもきれいになった 琵琶湖岸の桜がとてもきれいになった（ボランティアの方々の桜並木の手入れがなされるのだと思う）
5	道路整備がすすんだこと ゴミ焼却場の設置が迷走していること
6	市役所本庁が今津ではなく新旭町になった 生まれて初めて住民投票を行った
7	移住後15年朽木在住ですが人口は減り続けています。先般、市営バスにて生杉～能家と2回に渡り自然を満きつに行きましたが、両バスとも貸切状態でした。生杉の自然は、すばらしく感動的でしたが、生活するには覚悟が必要と感じましたがすばらしかったです。
8	保育の一元化（子ども園の開設）
9	スポーツ振興や福祉事業が活発の様に思える
10	全国発酵食品サミット2013 in たかしま
11	ごみ焼却場問題 第27回全国棚田サミット
12	成人式
13	総合運動公園の充実。施設を充実させ、市外より人の往来を図ることは、地域の活性化につながりよかったと思います。
14	○平成25年9月15日16日 台風18号 襲来 豪雨災害 鴨川の堤防決壊他 市の災害対策 ○令和元年5月にグランドオープンした市役所新庁舎の建設関連 今津地区から新旭地区 市長選挙での争点 ○環境センター ダイオキシン問題と新建設用地問題 ○新型コロナウイルス感染拡大防止と伴う市の取り組み 学校休校他 ○東日本大震災における市の対応策
15	市役所の立地場所を決定するプロセス。現位置（新旭町）に定めてよかった。
16	コミュニティバスが巡回するようになった事 高島病院が新しくなった事
17	旧高島郡の各町からの市長選が始まり、安曇川、新旭、今津の努力が思い出されます。各町からの代表者は当選後新高島市のために御努力されました。
18	廃棄物処理場事件 石田川流域の不法投棄事件
19	ブルーインパルス飛行。県外車が多く少しびっくり。
20	特にないが、個人的には6町が一緒になったことで、公民館教育等の数が増えて参加できる講座が沢山あって良かった。
21	補助金制度により、市の自治会に加入させて頂いた事。マキノ町時代の浄化槽管理組合を高島市が引き継いで導入された事で、浄化槽使用せざるを得ない地域としては大変助かっております。
22	合併後高島市が一つにまとまったと思います。
23	新旭町花火が無くなった事及び風車村が道の駅になった事が少し寂しいかな…
24	町の時はすごく町民が輪になっていたので、市というと不安がいっぱいでした。でも市民の行動範囲が増え、イベント、事業が楽しんで行けるようになりました。印象というと昨年おこなわれた自衛隊のブルーインパルスですね。
25	大型商業施設等できた事。
26	本庁舎の場所がなかなか決まらなかったこと。市内北部と南部の確執を見た気がする。

27	市の施設の民間委託 大型ゴミ処理施設の移転計画
28	2013年9月16日台風18号による大雨で自宅に鴨川の決壊による濁流が押し寄せ、1階が浸水。翌日から市の方々が泥出し等を手伝ってくれた等復旧事業。
29	朽木地域の道整備や空き家問題、過疎地域問題について、他の地域より進め方が遅く感じられる。
30	コロナ給付金などの対応の早さ。合併したことにより事務処理が早くなったような気がします。
31	自衛隊フェスタ50・70in滋賀高島
32	市長、市議会議員の選挙 市全体の観光資源、文化財などの呈示、保護 鴨川中流域のはんらん、災害
33	2014年、高島市環境センターが基準値を超えるダイオキシンを含む廃棄物を神戸沖の埋め立て処分場へ搬入していた問題が印象に残っています。
34	ゴミ袋のデザインが親しみやすくキャラクターも可愛い。
35	道路整備が進んだ。
36	結婚を機に移住しましたが、合併後20年も経過しているのに6町が手を取り合うという感じが見受けられません。住民自治協議会も一見、良い取り組みに思うものの、6町が各々で競う感じだったり、高島市として、まとまるというように感じにくいです。 発酵のまち、高島としての大規模な講座は凄く印象的で面白かったです。
37	メタセコイアからのオリンピック聖火ランナー
38	合併後ではないが、市名を決める住民投票。実は西近江を推していたが今では高島市に決まってよかったと思う。最初の市長選でこれからは市長を選ぶのだと思うと感慨深いものがあった。
39	コロナ禍にアイカ支給は売り手も買い手も良かったと思う
40	給食費無償化、小児医療費無償化など
41	メタセコイア並木等の観光資源活用を積極的に行っている印象が残っている。 アドベリーの特産物化
42	森と里と湖のミュージアム構想
43	合併後に移住してきたので、あまり意識していませんでしたが、昔から住んでらっしゃる方のお話で「六郷」という言葉を何度も聞く事がありました。
44	居住4年目ですので、特段ありませんが、美しい風景と温かい人柄のなかで、心豊かに過ごしています。
45	合併前から住んでいるわけではないので、合併前後の比較はできませんが…… 最近のコロナウイルスの対応については、アイカ給付等の積極的な支援策を進めていたように思います
46	鴨、海津の災害 移住定住促進事業 こども園
47	平成25年9月15・16日。高島市を襲った台風18号による豪雨災害。当地に被害は無かったが、鴨川対岸の高島市鴨地区以南は甚大な被害を被った。 復旧には大変なご苦労があったと思う。
48	2年前に住み始めましたが、地域の特色活かしている町だと感じました。
49	市民劇、市民音楽祭
50	湖岸の風景の良い場所や、住宅地の中にまで「太陽光パネル」があちこちに増えてきているのが気になる。 「景観」は観光資源でもあるし、住民にとっての日々の喜びやモヤモヤにも繋がっているので、むやみにどこにでも建てる許可を出さないでほしい。市として、大きな枠組みで「景観」を考えて欲しい。
51	松ガレ対策
52	国道161バイパスの整備 OBC高島
53	公共事業、よその地域にアピールする事業がたくさんできている。 他から入ってくる人たちには手厚いと思う
54	町単位のイベントがなくなり寂しい。
55	町民のスポーツ大会等が、市民スポーツ大会で、にぎやかだった記憶がある

56	学校給食費の無償化 良い意味でないけれど、子育て関連の無償化(医療費、保育料)
57	市がバックアップしたワールドランは面白かった　３０年近い歴史があったペーロン大会は市が手を引いたため、残念ながらもうできないでしょう
58	住所表記が変わったこと

【問６】市民憲章を制定するにあたり、以下についてお聞きします。

「あなたは“高島市”にどのような印象をお持ちですか？」

番号	内容
1	山と湖の間に狭い平地が有り、冬は日本海側の気候で雪が降る。その様な地域の為、開発から取り残されて、湖南、湖東地域よりは自然が豊かで有る。京都、大阪方面のベッドタウンには遠すぎるのと、JRが風でよく止まり陸の孤島になる事も有る。その様な事から若者は高島市には定住し難く、高齢化が進んでいる。
2	豊かな自然環境（琵琶湖があり、山がある）（ハイキングやキャンプができる）
3	若者に対する働き場所が少ないことから、地元に住居する者は少なく、人口減少の原因となっている
4	自然豊か、のんびり暮らせる、ほどよい田舎、自然災害が少ない、人口減少、交通不便（湖西線がよく止まること）
5	80歳になりますが高島は美しく静かで住みやすい
6	大雪が降る年がある、電車がよく運休する、緑が多く空気がきれい
7	自然と観光の街
8	自然環境がすばらしく、人柄も真面目で、大人しく、おだやかで、とても住みやすい地域である
9	田舎、空気や水がきれい、優しく、親切で穏やかな人が多い
10	発信力が弱くなった、PR不足
11	昔と比べて人が残っている感じがする
12	昔から変わらない自然豊かな交通の中心地
13	「ふるさと」
14	合併前の旧6町村の意識が少なからず残っており、市全体として互いに協働できていない面がある
15	高島市報を毎月見ていると人口が増えている様には思えない。学校卒業しても、高島に残って仕事をする人が少なく年寄りばかりが住み伸びることがない、子供を産み育てる人もいない。活気がない
16	歴史遺産、自然景観等すばらしい
17	夏の快適さ！冬は雪が多い！この冬対策を逆手にとり、なにかイベントを！
18	良い意味でも悪い意味でも顔の見える関係がある
19	少子高齢化、人口減少、風で電車が止まるまち
20	琵琶湖の水約3分の1を生み出す水源地
21	未だに5町1村色が根強い
22	たいへんしずかで美しい町と思っています
23	静かな山々に囲まれて住み良い高島市です。
24	豊かな自然とともに先人の知恵、功績を引き継ぎつつ発展してきた「素朴だがあたたかいまち」
25	住みやすく自然豊かな子育てしやすい町だと思います。 ただ、若者が都会へ出てほしい。人口も減少して高齢者の多い町だと思います。
26	都市と比べて道路、家並み等々ゆったりとしておだやかな雰囲気が住み易いです。
27	ずっと住みたい町だと思う
28	環境が良く住みやすいと思っている。
29	地味な感じはありますが、心やすまる静かな自然に囲まれて生活できる事は幸せなことと思います。 市役所のある新旭駅前が殺風景で暗く、活気に欠ける！印象。電車から降りた時の第一印象は大切かと。高島市の玄関先を明るいものに出来れば若者の受け止め方も変わると思われる。
30	生まれながらに高島にずっと生活し、四季を感じ人間の温かさも感じるころだと思っています。

31	住み慣れた町 高齢者には良いが、若者には刺激がない 地域に一体感がある
32	農村地帯（田畑）が広がっている 田畑を継承可能な取り組みをお願いします。
33	自衛隊の基地があるので正直こわい。でも私達の命、生活を守っていただいているのでありがたいと思っています。
34	人口が減ってますます高齢化が進んでいく。夕方湖西線に乗っていると、南のほうから帰ってくる高校生の多さに驚きます。卒業したら又、高島市から出ていくのだと思うとさみしくなります。
35	発展性要素が低い
36	びわ湖の近くで風景のいい所。こどもより高齢者のほうが多い。空気がなごやか!! 犯罪が少ない所。
37	自然豊かで災害があまりない印象があります。
38	昔ながらの日本が残っている
39	最近地震が多いので（もし大地震が起こった場合）原発が近いので避難ができるか怖い。被ばくが怖い。 あいば野の基地の実弾演習の音・震動がとても大きい。
40	自然（水、緑）と共に生活出来る場所
41	生まれ育った町、親しい友人等住みやすさが一番である。図書館、学習塾も複数あり、スーパー、コンビニが数多くまた保育園も多く子育て支援サービスがある。ものづくりの街でもある。
42	湖、桜、温泉、自然豊かな田園都市であること。
43	山が有り、湖が有り、自然環境が素敵な町（里）という印象です。（山歩きやマリンスポーツなど自然を大いに楽しめるので）
44	企業が少なくて、若者の就職先が乏しく、高島市を離れていくのでどんどん高齢化してしまうだろうと考えられる。
45	バイパス工事が全然進まない。
46	琵琶湖や自然を利用して遊べる施設が増えてきている。
47	水がおいしく四季折々の自然いっぱいの地域です。
48	人が良いし自然も多い食べ物は里のモノ、琵琶湖の魚、福井県にも近く海の魚等食材に恵まれる 子どもも育て易かった
49	高島郡の頃にこちらに来て、市町村合併で高島市になったのを経験しました。合併後も特に変わり無いのかなという感じでした。
50	人口は少なめだが自然にまつわるレジャー施設や歴史の深い伝統文化が多い
51	子育ては手厚い。しかし、若者が働きたいと思う企業が少ない。
52	行政と市民の距離感が近い。
53	高齢者特に独居老人の対策が出来ていないように思います。
54	中江藤樹
55	今は、観光で人気になりつつあり、そこをもっとアピールしたら良いし利用料を取れるのは取った方が良い。 白鬚神社の横断は車を運転してて本当に危険もっと、対策取締をして欲しいし北からの車が駐車場に右折の渋滞も対策して欲しい。 例えば国道やし右折禁止とか…
56	住みやすい環境だと思いますが、R161の交通面が不便だと思います。
57	滋賀県内において、他の市に比べていろんな助成があること。
58	すごく廃れた印象があったが、近年はいろんな政策やイベントも増え若い人の活躍が目立つようになったように思う
59	若者にとっては魅力の無い街
60	中年以降にはほどよい田舎、若者には不便 子育てへの補助が進んでいる。 就労場所が限定的
61	高齢者が多くなっていき活力が少しずつ弱くなっていくのでは、と危機感が、あります。
62	高島市と言えば、メタセコイア

63	南湖と比べて琵琶湖の水がきれい。空き家や空き地が多い。子どもが少ない。道に車が少なく、ゆったりしている。
64	賃金が安過ぎる
65	自然豊かなふるさとの森、山の新鮮な水や琵琶湖の恵みに囲まれた最高のふるさとです。しかも、絶滅危惧種や希少種の野鳥・植物も多数見られ、自慢の街という印象です。
66	歴史ある街とは言えないが、観光地となりつつあり、街にも活気が出てきたと思う
67	美しい山、琵琶湖、田んぼがあり、とても景色が美しい場所。自衛隊の大砲の音がよく聞こえる場所。最近ドラッグストアや新しいカフェが増えている場所。
68	地理的にとても恵まれた地域
69	琵琶湖の湖西にある「市」。中小の工場もあるが、「米」中心の農村地帯。
70	リゾート
71	別荘地
72	子育て支援に力を入れている点により印象を持っている
73	自然は多く、地域に根差した産業はあるが、若者の流出が多く、高齢者ばかりになってきている。
74	インフラ整備の整っていない街
75	自然が、豊かで住みやすいが、もう少し企業誘致して働く所を増やしてもらったりして人口の減少に気を付けて貰いたいのと遊べる所が少ない
76	良い町だと思いますし、高島市出身だと言うことに愛着を感じています。

≪あなたにとって高島市の誇らしい点は？≫

番号	内容
1	親孝行者が多い
2	それぞれの地域で、歴史や伝統を受け継いでいる点
3	風光明媚で自然豊かな地域であること
4	恵まれた自然、地域のつながりが残っている
5	水がおいしい、お米がおいしい
6	ネオンや、ゴミゴミしたところがない
7	風光明媚な自然環境と文化財等
8	空気や水がきれい、優しく、親切で穏やかな人が多い
9	情
10	ちょっとした観光スポットがある事（海津大崎の桜やメタセコイアなど）
11	交通の中心地、小浜、敦賀へ行くにも近く、京都にも近い。雪が多い、スキーが関西で可能なところ。人を迎えるところ。
12	自然が身近にあるが、京都まで1時間、大阪でも1時間30分でいける点
13	自然、四季を体感できる
14	観光に力をいれていること
15	自然を上手に生かして人々が生活している
16	山に関連する観光施設があること
17	人のぬくもり
18	中山間地と平地（平野部）をもつ、自然豊かな自治体
19	代々受けついだ「祭り・行事」などを大切にしているところ
20	それはどこの市町村にも言える事で、そこに住んでいる人の誠実さ、実直さではないかな
21	湖、田園、山が織りなす豊かな大自然
22	全国百選に15カ所選ばれています
23	美しい海津大崎の桜、メタセコイア並木、美しい琵琶湖
24	大きな事件が起こらない
25	1.行政が行き届いている 特に検診（ガン検診の日時）そしてその結果を確実に通知している。 2.競技場（総合グラウンド等が充実している）また、職員も丁寧である。 3.買い物に不便を感じない（スーパー等が充実している）
26	美しい景観と人が住みやすい穏やかな空気管、子育て世代にやさしいしくみ

27	虹
28	何にしても恵まれた地域だと考えています。ありがたく住民のひとりとして暮らしています。
29	中江藤樹記念館 竹生島、箱館山等の自然
30	四季折々の自然の美しさがあるところ。扇骨、雲平の筆、高島ちぢみ、近江牛、近江聖人中江藤樹、湖西の琵琶湖の美しさ、箱館山、新旭駅周辺の街路樹（メープル、イチョウ、桜、トチの木）、湖周道の桜並木、野うるし群生、カキツバタ、海津大崎桜、モミジ池
31	四季のうつり替わりで花が見頃であったり山鹿みどりになったり、びわ湖の水面もきらきら輝いていたり季節感がすごいと思います。
32	琵琶湖が有りドライブコース、風景が美しい
33	自然がいっぱいでこれからの高齢化にとって住み良い市だと思います。施設も充実していいと思います。
34	不便さを豊かさに変えようと、強みにしようとしている点
35	春夏秋冬の景観のすばらしさ、夏は海水浴、冬は雪景色
36	自然が豊かなところが多く、春は海津大崎、夏は琵琶湖、秋はメタセコイア、冬はスキー場等四季折々に楽しむところがある。 重要文化的景観に選定されるなど、人々の生活や生業及び地域風土で形成されてきた景観が残っている。 地域での結びつきが強い
37	琵琶湖の恵みで小魚やマリンスポーツが盛ん 京都、大阪から近いので行楽地として良い
38	そんな環境の中で春夏秋冬キャンプ、ウォーキング、湖上でウインドサーフィン、カヌーイング、ローイング、冬はスノースポーツと、1年を通してスポーツが楽しめる。
39	自然の美しさや由緒ある神社・仏閣がある事。
40	子育てにやさしい市だと思う。環境もすごく良い。人もやさしい。
41	豊かな市を維持している
42	時間がゆっくり過ぎていく!! 風景がきれい!! 人にも動物、植物にもやさしい市町村!!
43	キレイな所がたくさんあり、食べ物・お酒もおいしい。
44	朽木を散策するとノスタルジックを感じることができる。
45	20才代の東京での会社勤務で日本橋には近江商人系の企業が点在し、取引先もあった。また親戚が住む町田市 市の桜美林大学も有名で誇らしい。
46	歴史のある市 滋賀県一の広範囲な市 湖、桜、温泉、自然豊かな田園都市であること 今後の発展が期待される市
47	マキノサニービーチ それに地酒も美味しいと思います。
48	湖や山や雪等、子ども達がのびのびと生活できる点
49	各町に人の関心を集められる場所があること
50	扇骨など
51	市内で気候や天気が違うので市内の移動だけでも旅行気分を味わえる
52	人口が少ない上に滋賀県で1番面積が広いため、ゆったりと暮らすことが出来る点。
53	滋賀の北に位置するので琵琶湖が美しく、山々等自然の景色に恵まれている
54	自然の中、たくましく育っている人材
55	自然が豊か、なおかつ電車で京都まで乗り換えなしで行ける。
56	白鬚神社、アドベリーや高島ちぢみなどの商品
57	琵琶湖源流の里　これが一番です
58	文化や景観の維持に努力している点
59	レジャー施設が多い点
60	環境保全は「当然」という意識がある事。
61	安曇川
62	人が輝いている
63	発酵食品がある
64	川魚の佃煮が素晴らしいと思う事
65	田舎ゆえの不便さはあるが、子育てに関しては他の市町村と比べてすごく住みやすいところ

66	たくさんの観光資源と鯖街道や古い歴史が積み重なった地域の重み
67	グランピング
68	15歳まで医療費、給食費無料、アイカ支給
69	アウトドアできる場所が多い
70	メタセコイア並木やSTAGEXなど若者に人気スポットがあるところ
71	これといって何もないというのはいい意味で、都会っぽさがなく、緑があり広々とした住みやすいところだと思います。
72	JR特急が止まる駅 高島トレイル 高島音頭（各地域に独自の盆踊りがあったのに唯一江州音頭と一線を描いて伝承されている）
73	酒蔵の数、水、季節毎の観光地
74	継体天皇
75	友釣りや小鮎釣りが出来る自然豊か。高島の泉が出来、釣り友達から近くに住んでいて羨ましいと言われる。
76	近くに子供を連れていける公園がいくつもある所。
77	海あり山ありの美しい景観
78	清らかな水が豊富にある。自然と人が調和している。自然資源が豊富である。地産地消が可能である。図書館が充実している。自然に囲まれながらも、都市部へのアクセスが良い。いろんな人が住んでいる。
79	最近、観光客が増えているような気がする
80	大自然の美しさ、壮大な森林、美しい絶滅危惧種や希少種の野鳥、日本中には見られない種類の野鳥や植物が多数存在しています。
81	アイカの制度
82	無農薬や有機栽培などこだわりの野菜を作られている方が多い 材料にこだわって作られている飲食店がある
83	内村鑑三が「代表的日本人」の一人に挙げた、中江藤樹。 そして、桜美林大学の創設者、清水安三。 この両氏は、高島市の代表的教育者である。
84	市民隅々までケアが行き届いている
85	お米や野菜が美味しい 行政と市民が近い
86	湖や川、山などの自然資源と、それらとうまく付き合ってきた生活の知恵が年配の方々の中に残っていること。
87	地域住民との関わりが睦まじい。 給食費（小・中学校）の無償化の手当が良い。
88	星がきれいに見えるところ。
89	市民と自衛隊が協力しており、とても暮らし易い土地です。
90	綺麗な自然やったけど、最近、都会の人が遊びに来てて、その綺麗な自然も失われつつ有るから、誇らしいところはない
91	歴史、伝統を大事にしつつ新しいまちづくりを進めているところ 自分が育ったまち
92	マキノ地域の自然(海津大崎の桜、マキノ高原等)

<<あなたが思う”理想の高島市”を一言を表すなら？>>

番号	内容
1	顔の見える地域でありたい「和・環・輪」
2	高島の自然を体験して欲しい
3	災害など、何かがおこったときに、市民のみんなで解決に向けて、積極的に行動ができる市（協力し合う市）
4	若者が安心して定住できる環境作り
5	自然を大切にしている
6	”笑顔のあふれる高島市”

7	びわこ周囲の環境整備を行い「湖岸の美」の追求
8	歩いて行ける病院、歩いて行ける映画館。どこに行くにも不便すぎる（年寄りには）
9	若い人材が高島市に残れる様に働く場所の誘致
10	自然を生かしながら、表現力のある町
11	高島の人々が力を合わせて地域全体に貢献できる地域でありたい。後世に残される人たちのことを考えて物事を決めて欲しい。
12	山紫水明
13	賑やか、地元で働く事、観光で人が訪れる、歴史が伝承されている
14	気分をいやしてもらえる高島市になればいいと思う
15	自然豊かな交通の名所、観光の街
16	活気
17	Open mind
18	誰もが安心して生活できる場所
19	自然と共存
20	「ふるさと」
21	ゆっくりと子育てできる環境
22	市民全員がつながる地域
23	少子高齢化にともなう手当の拡充
24	住んで良かったと思える高島市
25	人と自然が共生するまち
26	治安が安定して住み良い。
27	住み慣れた地域で、いつまでも健康で済み続けることができるまち
28	Boden湖のBregenz（オーストリアの都市）にしたい。
29	道路整備をもっときちんとされ、車の乗らない人たち、高齢者の者でも安心して歩ける歩道を作るべきです。
30	”働く”環境が充実 → 豊かな人材の育成（人口流出を防ぐ） → どの世代にとっても幸せにくらせる高島市
31	若者が高島市に残って人口も増える様な市になれば良い
32	若者が集う活気のある街 そのためには「企業の誘致」「雇用の確保」「湖西線の増便」
33	助け合いが当たり前のようにできることを望みます。
34	自然が美しく、店もあって暮らしやすい。年をとっても暮らしやすい場所になるといいなあ。
35	裏表のない社会
36	本当の田舎になる事かな
37	集落を拠点に助け合いながら、高齢になっても生き生きと生活できる地でありたい。
38	空気がおいしい町
39	美しい自然も残したまま、もう少し発展させて人が多く集まる町になったら良いのに。
40	「福祉の街」子育てから、老後まで安心して生活できる保障が必要。障害をかかえる者も、老後まで心配なく生きていける環境が整えば、それに伴い、人も集まり、高島に定着される人たちも増す事が考えられる。職場に保育所を設置し、若い女性でも働きやすい環境作りを企業側も考えて頂きたい。廃校の活用（障害や世代を超えた交流の場も必要かと）
41	市民のひとりひとりが高島市のいいところ、好きなところを話せる
42	発展
43	子供の声のする町
44	県外から多くの人を呼び込める魅力がある市。
45	都会ではなく、まったくの田舎でもない、日常生活に支障のない便利さがある町
46	高齢者の住みやすい市にすること。
47	日本一健康で暮らせる、楽しめる所
48	昔からあったお店が閉店する中、何年か前から都会から移り住んできた人達によって新しく飲食店があちこちに出来て、町へ出かけなくてもおいしいものが食べられる様になってきたので、もっと沢山の人の移住してもらって活気づけてほしい。
49	昔の田舎の匂いのする近代的な市町村
50	子供達がのびのびと育つ事ができる高島市へ
51	都会で疲れた人へのいやしになる地域
52	穏やかだが、おもしろい地域

53	次世代に残せる循環の町
54	地方に歴史的価値観を高め、自然をアピールし、マリンスポーツを推奨し、地方から居住しやすさをアピールする。
55	会社に例えるなら誰がターゲットで何が欲しい情報か常に発信提供し続ける事である。
56	海はないけど湖がある。 老若男女住み良い市
57	「京の都に近い里」 京都観光に来た人が、高島まで足をのばして、自然を楽しんで帰っていただく…という感じです。
58	年をとっても暮らしやすい町
59	子供が笑顔で過ごせる社会。
60	進化
61	電車の本数が多い
62	もっと遊べる施設を利用して県内外からたくさんひとに遊びに来てほしい。
63	いつまでも、自分らしくいられる高島市
64	若者が働ける街づくり
65	もう少し働き先が増えることで住民が増え、それに伴い飲食店や衣類系のお店などや電車の本数が増え、市外へのアクセスが良好な高島市。
66	世の中が混沌と荒れてもここだけは変わらない、静かで平和な街。
67	粘り強さ
68	地域一体
69	伝統文化を重んじ大切に守っていく市民で多くいる事になれば良い
70	若い人も生活できる街。 働く場所や仕事場の充実
71	自然の中でも便利な所
72	交通接点を利用して 全国に誇れる街に
73	持続可能
74	観光業で成り立つ街
75	都市部（大阪/京都）へ1時間で通勤できる、田舎暮らしが満喫できる住居エリア。
76	あらゆる面での豊かさ。
77	自然の資源を大切に、新しくきた人たちを受け入れて発展していく
78	美しい景観や街並みの中で安心して家族で暮らせる環境
79	働きがい生きがいのある自然豊かな街
80	若者が定住して、子供が育てやすい環境と、働く場を設ける事。この豊かな自然環境、他にはない琵琶湖の景観をもっと利用して、くつろげるカフェや、レストランをオシャレに展開して欲しい。
81	滋賀県に来たら行きたいと思える市
82	長浜との橋ができて、自然が多いままに栄えれば良いなーと思います。
83	自己表現のできるまち
84	革新的
85	京阪神のベッドタウン
86	良い意味で人との間に距離感がある
87	地域住人が協力しあい子供も高齢者もイキイキと過ごせる
88	人に優しい
89	これまで受け継がれてきた自然、景観、文化を大切に、乱開発などもなく市外に誇れる様な市であること。
90	福利厚生が充実している
91	車で来られる人が多く渋滞をしないよう道の整備を急いで欲しい。
92	若い人の活躍やこれからの世代への支援を全世代で支えることのできる市
93	自然の中でひとが育つ市
94	歴史に根付いた、ほどよい田舎
95	都会に憧れるけどやはり田舎暮らし
96	市民が自立しつつも郷土を大事にする
97	人口増加
98	次世代を大切に、未来につないでいく
99	近畿の避暑地
100	衣食住の地産地消がかなう水のまち。

101	子供を、産みたい育てたい街
102	退職後も心安らかに暮らせる
103	民意に寄り添った、悪事を許さない高島市が理想です。
104	どこからでも帰ってきやすい週末にリラックスしに帰れる場所
105	のんびりと住みやすく、京都や大阪といった都市部へのアクセスも必要十分レベルに確保されているまち
106	自然と文化と文明と人が共存し合う市。
107	子供を育てていく上で、心配な面がなくなる事が理想だと思います。
108	ゴミゼロのまち
109	水と緑に恵まれ健康的な生活のできるまち、高島市。
110	自然が豊かでほど良い暮らしのできる場所
111	行政が高島市民のために柔軟に動き、また市民も行政を信頼し、互いに意見を出し合い(行政を担う人と、学生からおじいちゃんおばあちゃんまで！)支え合って、素敵な高島市を創る！そういう社会である高島市がいいな♪
112	市外へ転出する「必要を感じない」市
113	良好な雇用環境と住環境の両立
114	何も無いのではなく何でもある
115	自然と共生、リサイクル社会、災害に強い絆と防災設備、若者や子供達が夢を持てる環境、生き生きとした高齢者
116	自然環境が良く、子育てしやすく、お年寄りにも優しい住みやすい土地。歴史、文化遺産が自慢。
117	子どもが増えてお年寄りも適度に居る街
118	透明性の高い行政
119	高島市の自然を生かした就学、キャリアデザイン
120	大津などからも買い物に来てもらえたり、他県からもスポーツ施設に人が集まったりすると良いなあと思います。
121	市内どこでもバスで行ける
122	心の豊かさの価値が評価される、昔の日本らしさを残す街
123	明石市のような市
124	古いしきたりをなくして自然を大切にしながら観光を増やす。
125	自然のなかで生かされ、生活が完結できる町
126	幸せを感じる市
127	思いやりあふれるまち
128	県内一位の暮らしやすさ
129	人にも環境にも優しい田舎町
130	老人になっても出来るだけ子供に負担を掛けない暮らしが出来ること。
131	今のままでいいし、逆に変わってほしくないと思う
132	経済的に発展を遂げる
133	若い人も年配者も、働いて生活を営みたい人が誰でも未来を描いて、失敗してもやり直せる産業構造があるまち
134	流動的

《高島市にとってあなたが後世に引き継がなければならないと思う大切なものは？》

番号	内容
1	誠実な心、生き方
2	歴史や景観を継承する（きれいな市づくり）
3	高島市の文化遺産等の保存
4	現状の自然環境がず～と続くようにする
5	現存する歴史的建造物
6	美しいメタセコイア並木、水をきれいに保てる清掃
7	旧町に残る行事、祭り等
8	大資本ではなく、地元の企業を大切にしたい町づくり

9	風光明媚な自然は、未来の子どもたちに引き継いでいきたい。自然環境は、人工でお金をかけて作れるようなものではない。このすばらしい自然や先祖から引き継いだ文化財等を大切に保存する義務がある。ダイオキシン問題など、このようなことが二度とないように後世に伝えるべきものである。
10	土着の歴史文化の継承
11	市にとって良い所を残したまま、時代に乗り遅れない生活の共有
12	「人」だと思う。人がいなければ文化も、高島の誇らしい所も自然も何もない。次世代に引き継ぐことができない。
13	自然豊かで、心優しい人々の集まり
14	関西の軽井沢を引きつぐさわやかな町づくり
15	今を引き続けるべきだと思う
16	一体感
17	ソウルフードとんちゃん
18	お互い様の精神 隣近所のつき合い
19	歴史と伝統 人と人との繋がり、お互いに尊重し笑顔と思いやりのある市政
20	美しい森、山々を守ることです。
21	美しい水と空気、豊かな土地
22	伝統産業（すべての分野において） 湖や山々、美しい自然 物ごとの考え方（時代が変化しても決して変わることはない昔からの高島ながらの着眼点のようなもの）
23	母なる琵琶湖を汚さない。水を大切に。
24	自然を守っていく。一方土地を荒廃させず活用して守って美化していく。 元気のよい子供の声が聞こえてくる。高齢者は生き生きと楽しく過ごしている。
25	自然にやさしい産業（働く場所）の確保
26	助け合いの心
27	美しい琵琶湖と景観を守る。
28	地場産を引き継ぐ、後継者育成。 広大な土地の売却については、市独自の規制がかけられるとか、売却先の選定に関われる案が必要になる時代かと。
29	各町村の遺産を残していただきたいです。
30	美しい町、活気の高島市
31	栃、水資源、高島でここで暮らしたいという気持ち
32	人情、団結力 特産品 観光資源
33	近隣や人とのかかわりを大切にする事。
34	人々が支え合う町づくり
35	人の輪
36	自然を守り、神社、仏閣を大切に守ってほしい。
37	新しいものを取り入れながらも、素晴らしい自然を守っていく事。（太陽光発電の施設に雑草がたくさん生えているのを見かける。所有者はしっかり管理してほしい。）
38	昔から続く高島市にしかない伝統的な物や仕事など。 昔ながらの人と人とのつながりや近所との付き合い（助け合い）
39	今の良い所を引き継げれば良いと思う。
40	自衛隊と共存する事
41	古き良き日本
42	人が生きて生活していると感じられる豊かな自然,空家があちこち…とか放棄田だらけとかではなく
43	緑に親しめる環境を整え、残していきたい。
44	高島市民はどんな人も優しく心地良い街であってほしい。
45	祖先が耕してきた耕地を荒らさず、何とか次世代に残すこと
46	治安維持、安心して暮らせる人間関係

47	伝統的産業や地元の会社
48	高島市に住む人、こどもからお年寄りまで、全ての人が、高島市を活性化する役割を持っているということ！
49	扇骨とか
50	公共交通の整備（利便性）
51	発酵や湧水など、豊かな自然
52	地域通貨アイカは他の地域の人に伝えたら驚かれたので、当たり前ではないと知った。住民を大切にしてくださいの姿勢を伝えていきたい。
53	子供の遊び場
54	米作り、地酒作り
55	河川の水質保全
56	優しい気持ち
57	高島市が産んだ偉人中江藤樹先生の教えや精神を後世に繋いで行く
58	地産地消。市民が食べるものが困らないように農水産業を引き継いでいく。
59	祭り等の伝統行事
60	観光案内
61	街並みの保存や整備。
62	自衛隊の基地や演習場があるので、そこは残しておくべきだと思う。
63	ホツマツタエ
64	各地の特産品
65	高島おどり、余白、隙間。
66	子どもに優しい施策
67	おいしい空気とおいしい水
68	豊かな山林や豊富な動植物層、食文化、水産資源。
69	メタセコイア並木
70	直接体験をともなう教育環境 小学校の総合学習の充実や、各種体験学習の充実は、本市に居住するうえで大きな誘因でした。農地や山林、湖等、児童・生徒が直接体験を通じて人間性を陶冶する環境は、ぜひ後世に引き継いでいくべきだと思います。
71	扇子や、発酵食品
72	地域の祭りや伝統が薄れているなかで、それらを引き継ぎ、また自然についても、琵琶湖、河川、景観を引き継がなければならないと思う。
73	琵琶湖の水質
74	市内全ての小学校、中学校、高校。
75	田園風景
76	自然保護は勿論ですが、人が安心して暮らせる街、環境づくり。
77	古墳・城址などの歴史的史料
78	コロナ禍で下火になっていた、年間行事（各地区毎行事も含む）。
79	とんちゃん
80	自然環境を生かした景観　桜百選　松並木　滝百選
81	やはり大自然、緑豊かな森林や野鳥保全・植物です。生物多様性に富んだふるさとの森を維持すること。
82	美しい自然(山、琵琶湖、田んぼ・畑)と生物(蛍や蛙の声、ザゼンソウなど)
83	歴史的に決して有名ではなさそうなマイナーな城跡や神社 隣近所の人付き合いと人情溢れる田舎独特の生活
84	良質な水資源と琵琶湖の生態系
85	琵琶湖で泳げる
86	「致良知」の教え。
87	子まぶしなどの郷土料理
88	古き良き古民家
89	七川祭り
90	自然と地場産業、広い意味で技術を持つ人。
91	文化的、歴史的価値のあるもの。維持や管理、白髭神社とか
92	アドベリー
93	緑の多さ。
94	外来種のいない琵琶湖と里山

95	変わらない勇気
96	若い世代の働きやすい受け皿
97	高島市ならではの文化(食文化、祭りなど)やまち並み、豊かな自然。
98	安心して結婚、出産できる市
99	自治会組織の存続
100	各在所の祭り。
101	希少種。絶滅危惧種。
102	地元愛
103	高島市で事業をしている人たち
104	寄り添い 人との絆を大切に
105	手付かずの自然と琵琶湖
106	桜、スキー場、キャンプ場
107	自衛官及び自衛官家族の定着化による地域活性化が必要だと思うので、自衛隊との共存共栄
108	かばたという文化

「高島市をより良いまちにするために、あなたが思う取り組んだ方が良いと思うことは？（将来のまちづくりへの思いや願い、行動など）」

番号	内容
1	若者が定住しやすい環境 高齢者が安心して住める介護の充実
2	祭り、一緒に取り組むことで仲間づくりが出来、和が出来る
3	交通機関の充実
4	自然環境を前面に出す
5	湖西線の便数ふやしと防風対策、空き家活用（移住体験や空き家での店）、今津南浜沼地の有効活用（大型ショッピングセンター）、免許（運転）返納した者全員にタクシー券の交付
6	通学路の安全性（道路がデコボコが多すぎる） 今津、新旭、安曇川の駅降りでも何もなく魅力がない、もっとにぎやかな駅付近にしてほしい
7	人々が集ってくる市政づくり（移住）
8	高島と言えば”これ！”と言える、シンボリックなものの形成
9	新しい組織を結成するのでなく、今ある組織を見直し、充実させていく。
10	地域で清掃活動を増やして欲しい。そして清掃活動をしなくてもきれいな街にしたい。
11	スタートアップ企業の誘致（環境整備、空家活用、回線の高度化） 地域伝承民話の再話活用（宿泊者向け）
12	人が減って空き家が目立ってきているので空き家をうまく利用して、何か町おこしの事が出来れば良いと思う
13	自然を中心にした酪農、放牧 農業者の減少による規模の拡大
14	近域の企業をもっと宣伝すること
15	他県から移住して来られた方々との共存 周りに流されないよう高島市の良さを残しながら進化し続ける事
16	スローライフを求める若者の農山村志向がある事で、高島市が常に情報を発信していくこと
17	社会的弱者（子ども、老人）に優しい街
18	子ども、若者、老人が力をあわせてひとつになる
19	若い世代が住める（仕事がある）取り組み 既に取り組みがある高齢者・子供以外の住民への施策（特典や恩恵的な）
20	日本一住みたい、移住したくなる高島市の諸施策
21	市民の自信が高島市のブランドをつくる
22	人や社会とのつながりのある環境づくり（できれば、旧6町村ごとの取り組み）
23	インフラ整備、アウトドア、アクティビティの整備（特に道の駅、公園） 市民サービスの向上（市民による特典が少ない）
24	荒れた農地の整備 少子化対策

25	景観保全の厳しい基準
26	教育、食育に力を入れる
27	人と人との結びつき
28	世界のどこへ行っても英語が通用する。多くの市民に英会話ができるようにする。
29	もっと高齢者に優しい、親切的な町に……免許返納などで…どどん車を運転しない人が多くなります。バスの充実をされたほうが良いのでは。
30	人口流出を防ぐ、他所からの流入を進めるためにも働く場所の確保、設定
31	全ての各戸への声掛け等何か義務付けられたら（無理のないようやさしい声掛けを）よいと思います。
32	草かり、町内でも高齢だと難しくなりつつある。若い人は子育てや仕事で忙しそうで強要できない。美しい景観を維持するためにも市で統括してほしい。
33	環境破壊を起こさない企業の誘致 税収増の為・若者の市外流出の防止の為
34	人権差別をしない事
35	若い世代の人たちが生計を営まれる賃金を得られる企業誘致と共に、高齢者施設の増設、又老人介護の教育施設開設。別荘所有者が高齢化して管理が難しくなっている現状が見えてきていますので、市としての活用法はないものかと思います。駅前（新旭駅）にユニクロや雑貨店、飲食店の誘致を！ 食品移動販売車、バスのみならずタクシーの割安乗車チケット販売。 防災食は高価で備えに苦慮する。高島市で缶入りパン等を作り、販売してはどうか。
36	缶拾いやゴミ拾い草取り、大変だけど各町村の輪がきれいな町づくりで良い事だと思います。
37	みんなが動きやすい場所を見つけ、市民がいっしょになって楽しませてくれる施設
38	自然環境を生かした観光関連産業の振興。
39	保育職、介護職の増加、それに伴う保育士、介護士さんたちへの給料、還元を増やしてほしい。
40	面積が広すぎて自分も知らない場所もある。各地域の地図等作ってはどうか。
41	太陽光等で自然景観を損なわない。 湖西線をこれ以上減らさない。
42	みんなであいさつする。声を出さなくても、通りすがりの人でも、一礼する。
43	合併して20年近くになるが、市内が一つになるのは容易なことではないと思います。旧町でそれぞれの良さを生かしながら、交流すると一体感が生まれ、郷土愛も高まるのでは。
44	市民の要望に対して見える化。 市民への還元拡大。
45	住みやすい住環境 ・無電柱化 ・広い道路
46	人口減少や高齢化が進む中、支え合い暮らし続けていくためのコミュニティ基盤の弱体化が進行しています。世帯の単身化、孤立が進み、ゴミ出し等生活上の小さな困りごとから通院・買い物等の移動手段の問題まで、暮らしの中の困りごとが多様化してきており、今後更に進んでいくことが予想されます。住み慣れた地域で最後まで暮らし続けていけるよう仕組みが急務と思います。
47	若者と年寄りの助け合いの生活。
48	コミュニティ作り、介護予防活動支援事業としての取り組みを望みます。
49	美しい湖岸等の環境を守り、老若男女がその環境の中で1年を通して健康増進のため、楽しむためのスポーツを楽しめるような環境をさらに向上させ、PRして人を呼び寄せる活動が進めていく。
50	過疎化が進む中、若い人たちが増えなければますます人口が減ります。働き場所の確保、子育て支援による若い層の定着、それと共に高齢者支援も忘れずにしたい。
51	道路の整備（R161バイパス完成）により観光客の増加した時の対応 少子高齢化による小学校の合併後の通学の足
52	一時的な取り組みでなく、継続的な取り組み。改善を定着させ、次にスパイラルアップしていく持続的活動。
53	こどもの勉強や遊びの出来る施設の増加 若い世代の住みやすい環境（住宅の補助金や空き家の活用）
54	お互いが思いやりをもって接することで信頼ができ、いい事の連鎖がおこる。
55	農業等の後継者の育成。
56	個人的にトレイルやマラソン、自転車の大会、イベントを増やしてほしい

57	年老いても交通手段が守られている。 今まで一生懸命生きてきた老人たちが遠慮せずにあたたかい医療や介護サービスを受けられる。
58	使わない田畑の有効活用 マリンスポーツ推進 古墳、城跡ツアー
59	地域でのコミュニケーション、特に世代間の取り組みを増やすための行動を考えていけたら良いと思う。
60	大きなビジョンの下での計画的推進及びその経過の報告
61	1.JR湖西線の防風柵等を設置し、止まらないよう策が必要です。 2.高島市で働きたいと思える様な企業の誘致や野菜や果物などの室内等で生産できる公共事業ができれば良いと思います。
62	お年寄りが暮らしに不安を抱かないようなネットワーク作り 次世代をになう子どもたちをみんなで見守り、育てていくこと
63	歴史あるものを大切にしつつ新しく変わった物を有効活用
64	電車の本数を増やすこと 教育環境の整備（高校のレベルの向上等）
65	子どもが自由に遊べる施設を作る。 観光客向けに高島市ならではの体験や、サービスエリアを充実させる。
66	税金をたくさん納めてもらえる人々若者が高島市に来てもらう事。大きな会社や大学など。
67	リハビリテーションの考え方を保育園の世代からお年寄りまで、全ての年代に感じたり、理解してもらうこと。
68	誰もがまちづくりの主役であることを認識する
69	除雪対策
70	将来を担う子どもたちの環境を整える。 オーガニック給食が進むまちが他市であるが、高島市でも子どもたちの健康のために、進めて欲しい。そうすることで、土や川を汚さない、琵琶湖のためにも繋がると思うし、良い循環になっていくと思う。
71	自然豊かなところをもっとアピールし、魅力を知って欲しいと思う反面、観光客が増えることで地元住民の普段の暮らしに影響も出てくるので悩みどころです。
72	農業、林業、漁業等第一次産業を継承する若い世代への表彰、補助金給付 地域活性化に取り組む人の活動を集めた情報誌またはWEBメディア
73	医療の高度化、大学の誘致
74	古き街並み等に残し、子供が集まりやすい場所や遊べる施設の確保
75	環境美化
76	自然観光資源、文化資源の積極的な活用・再開発により魅力ある地域づくりを行い積極的に企業誘致を図る。 これにより、地域の活性化をはかり、若者の魅力ある職場の提供と高齢者が安心して終活できるための福祉施設の充実を図る。
77	自然を残すための活動
78	未来の宝である子育てを家庭個人でなく、地域、学校など豊かな関係を活かしてられる関係づくり、安心して産み育てられる環境
79	高島源流の里で有る事とか空気が美味しい、水が美味しい、自然が多い等良いところを内外にもっとPRするべきだと思います
80	コンパクトにできるところはコンパクトに。 そして豊かに過ごせるように、若い人が戻りたくなる街創り
81	湖西線が止まることで通勤できないため人が市内からでる。 子育て支援をすることは大切であるが、乳児から預けないで自分たちで育てていけるようにすることが大切。何でも無料にすることがいいと思わない。
82	観光地の整備や子育て支援もそうだけれど、お年寄りにも寄り添えるといいと思う
83	彦根米原と安曇川間で、琵琶湖大橋のような有料の橋を作った方が絶対に良い。
84	琵琶湖をもっときれいにしてほしい。
85	訪れる人からもっとお金を落としてもらえるような仕組み作り（環境税のような寄附感覚で維持費を捻出する仕組みは最低限必要）
86	脱炭素
87	旧来の商業エリアの再開発（異種再生含む）と、新たな求心力ある商業エリアの立上げにより、市外からの開業者と若者の開業機会の創造を促す。

88	今取り組んでおられる定住支援や、定住してくださる方と元々いる地域の方を繋ぐような事業。地域にいる人たちがつながるような取り組み。
89	161号線バイパスの整備、湖西線増便など周辺地域へのアクセスし易い環境作り
90	人口を増やす政策、住みよく暮らしやすいこと
91	若者が移住して来るには、様々な金銭的な対策と共に、例えば、幼稚園や、小学校で普段の会話で、英語教育を取り入れバイリンガルを目指せば、必ず、移住者が増えて来ると思う。
92	高齢化に伴う伝統文化の後継者不足への対策
93	地域住民が協力して生活に必要なものを産み出すことで 自然 文化 コミュニティを守っていくこと
94	地産地消、農林水産の支援、教育環境の強化、優秀な人材育成、地元で雇用
95	蛍の観察が出来る場所の保全。
96	世代交代と、福利厚生の実。早急に働き方改革推進を！完全週休2日制にするなど
97	モラルのレベルアップ
98	高島市の伝統のものと、外からくるものを融合して新しいことにも挑戦すること
99	古本屋や古着屋などのリサイクルショップ建設、本屋を増やす、駅周辺、または駅内の充実
100	空き家対策
101	豊かな自然環境は子育て世代にとっても魅力的だと思うので、市内で一生を完結できる様インフラを整える取り組み。
102	子育て支援は学童期以降から高校までの教育をもっと力を入れてほしい。高校生から学区外へどんどん流出しているのをそこを解決していくべき。地元で就職したくても他地域に負けてしまっている。また、学習障害児や不登校児へのケアの拡充も必要。
103	農業従事者、田、畑所有者の支援。2, 3年後にかなり、耕作放棄地が増えるのが予想される。
104	大きい会社と若者流出の阻止と働き先と老人ホームの充実
105	高島市および市民が、"新しい豊かさ"を位置づけ、認識し、共有できると、他市にはない魅力が高まると感じます。商業施設やリゾートホテルではなく、豊かな緑、美しい水と景観、ゆったりと流れる時間、それらに合うような価値のフレーミング・ラベリング、が出てくると良いと感じます。
106	伝統を残しつつ、新たな変化には柔軟に対応する事 ただし、安直にSDGsやLGBTQなどに迎合した対応はしないことが重要
107	電車の本数(特に朝7時台の快速、夕方6時台)がもうちょっと欲しい。
108	人々が穏やかに暮らせる場所、訪れる人の心を癒す場所にしてほしい。観光も大事だが、この地ならではの農業体験や自然体験など住む人々の暮らしと調和した観光のあり方を考えてほしい。
109	どんどん新しい事を試してみる事。
110	産業誘致(工場や店舗等の就労場所を作る) 京都や長浜、敦賀への交通網整備、拡大
111	若者が少なく、それに伴い、子どもが少ない。 まずは、若者が市外に流出せず、高島市に留まり、家庭を持てるような、雇用対策や、少子化に対する施策を、進めるべきではないか。 人口が減少しすぎると、手の施しようがなくなる前に！
112	教育に力を入れ若い世代を育てる 移住者の方たちの意見を取り入れる
113	テレビなどの広報アピール
114	幅広い世代が長く働く環境が整うこと 大津や京都などのベッドタウンになるよう交通の便が良くなること
115	山林管理
116	プラごみの分別 コンポストの仕組みをもっと取り組みやすく
117	雨の日や猛暑日でも子供達が走り回ったりボールを使える屋内施設が各町に必要。 地元の人でも知らないお店が多いので、市内のお店の無料紹介冊子を毎月発行。
118	「高島市といえば〇〇」というイメージ戦略など、知名度や価値を高めるための取り組み
119	今後起こるであろう自然災害からくる、各被害に対する責任の所在と保証
120	街のイメージを壊さない市政。人口増加に対する取り組み。
121	市のシンボルになる物をつくる、子育て支援、高島市内の人口減を止める取り組み(商業施設や娯楽施設など)、Iターン,Uターンをされる方達への支援。
122	子供の就学後の医療費の無償化。

123	市の職員が地域に出向き、まちづくりに働きかける
124	森林・水源など豊かな自然を守るための活動、まちづくりを長期視点で考えること
125	田舎で閉鎖的ではなく、穏やかな人が都会より多いというアピール
126	財政的にいろんな課題があっても、手が行き届かないと思いますが、こんな時こそ民間の団体と手を組んで問題解決につなげるべきです。財政に難しいなら、資金をクラウドファンディングも出来ますし、寄付金集めも出来ます。
127	高島市民がもっと交流できる機会を持つべきかなと思う イベントごとを段々と増やしていくべき
128	もっと市民と行政との繋がりを身近に感じたいです。役所で何かイベントを開催すると言っても、学生にとって役所は「カチッとしたフォーマルな場所」というイメージがあって参加する人が少ない。行政を担う人と学生さんとの繋がりが増えたら、選挙に関心を示す学生も多くなるのではないか。また、行政を担う人たちに、今の学生がどんな環境でどんなことを感じているのか・学生さんに、行政に携わる人たちはどんなことをしてどんな仕組みで動いているのかを、互いにじっくり知ってほしいです。
129	田舎の自然を残しつつ、学生が多いまちになることが理想です。 例えば、大阪の吹田市はよくよく見ればめっちゃ田舎ですが学生の多いまちで、税収は見込めないが活気がすごくあり経済も活発に進展しています。10年20年かけて学生の多いまちになることを望みます。
130	施策の「選択と集中」 土地活用の流動化(「所有する」意識から「利活用する」意識への転換)
131	若い世代と高齢者世代を繋いでいくべき
132	建て替えや新築などに補助金や地元の働き先などがあれば
133	太陽光発電の設置を減らす
134	オーガニック給食の導入 大切にすべきは子供たちです、現代病の多くは食生活から来ています。添加物、農薬大国の日本、それすら知らない国民が多く医療費は増える一方です。真面目に、本当の意味で消費者のために野菜作りをしている生産者を応援する意味でもオーガニック給食導入の道筋を考えるべきだと思います。
135	学校周りの歩道整備
136	高速道路が通る
137	子供達への充実した教育環境作り、健康寿命重視の高齢者福祉、障がい者が生き生きとする理解ある社会作り、交通環境の改善
138	①福祉に強い高島市。 ②養護学校出身者の充実した雇用。
139	労働集約型以外の仕事を増やす。
140	伝統と新しく来る人を大事にすること
141	子ども3人目以降への異次元の援助。
142	高齢化率が高い高島市で、高齢者が少しでも働けるような環境を提供することが、街の活性化に繋がるのではないかと思う。
143	自然に優しい暮らしのための事業 (コンポスト、雨水利用、自然エネルギー利用など)
144	スケートリンク
145	文化芸術の振興
146	高島市の自然を生かした就学、キャリアデザインを担う為の人材育成と助成。 高島市内で完結するように。
147	カジノ誘致
148	メタセコイア並木通りの交通整備
149	①誰もが学習をできる場所を確保する。 →無償でできれば。かつ、学習を指導できる人材を確保したい。(元教員など) ②人口増加を目指して、京都方面に通勤する方には通勤手当の補助金を助成する取り組み
150	イベント企画を増やす
151	スケボーパークがあれば良いなあと思います。
152	まちのごみ拾いなどの、まちをきれいにする清掃に関するボランティアへの参加、また、市民同士の関わりのためボランティアや地域のイベントへの参加。
153	散歩コース、公園など気軽に利用できる施設の整備

154	他の市、例えば明石市等のような市の良い所は真似をしていき、高島市を良くしていけば良いと思う。
155	古いものを大事にする
156	若い世代が高島市で暮らして行きたいと思える街づくり。今高島市で素敵な暮らしをされている方と若い人が交流できる場を作る。
157	集落の自治機能をサポートしていくこと。集落をまとめることではないと思う。行政で取り組むことができないが、歴史的に重要な各神社の催しがなくなりつつあると感じる。
158	保育園をどんどん、潰していくんじゃなく、もっと、保育園を大事にして欲しい
159	一度は里を離れても、また帰ってきたいと思える町づくり
160	若い世代に目を向けた取り組み。 もっと子育てをしやすい市になればいいと思う。(公園や、遊び場を増やす。父親も参加しやすい育児への道付け。父親教室の開催や、月齢別健診への参加を促す働きかけ)
161	町内での活動（お祭り、掃除など）
162	自衛隊演習の音や響きの減少への努力。 もっと他所から来たものへの優しさ。
163	老人になって車に乗れなくなっても1人でも暮らしていける便利さが願いです。 子供に負担を掛けたくないです。
164	市 全体の美化 学校の無償化
165	観光資源を高島市が主導し大きくコンテンツ化して観光客を誘致し、そこから定住者やリピーターを獲得できるように意識すればどうか それができれば地域活性化に繋がっていくと思う
166	芝生の多い公園、カフェ、イオンのような商業施設を増やす
167	市民の声を聞いて交流を増やす
168	現状を維持すること

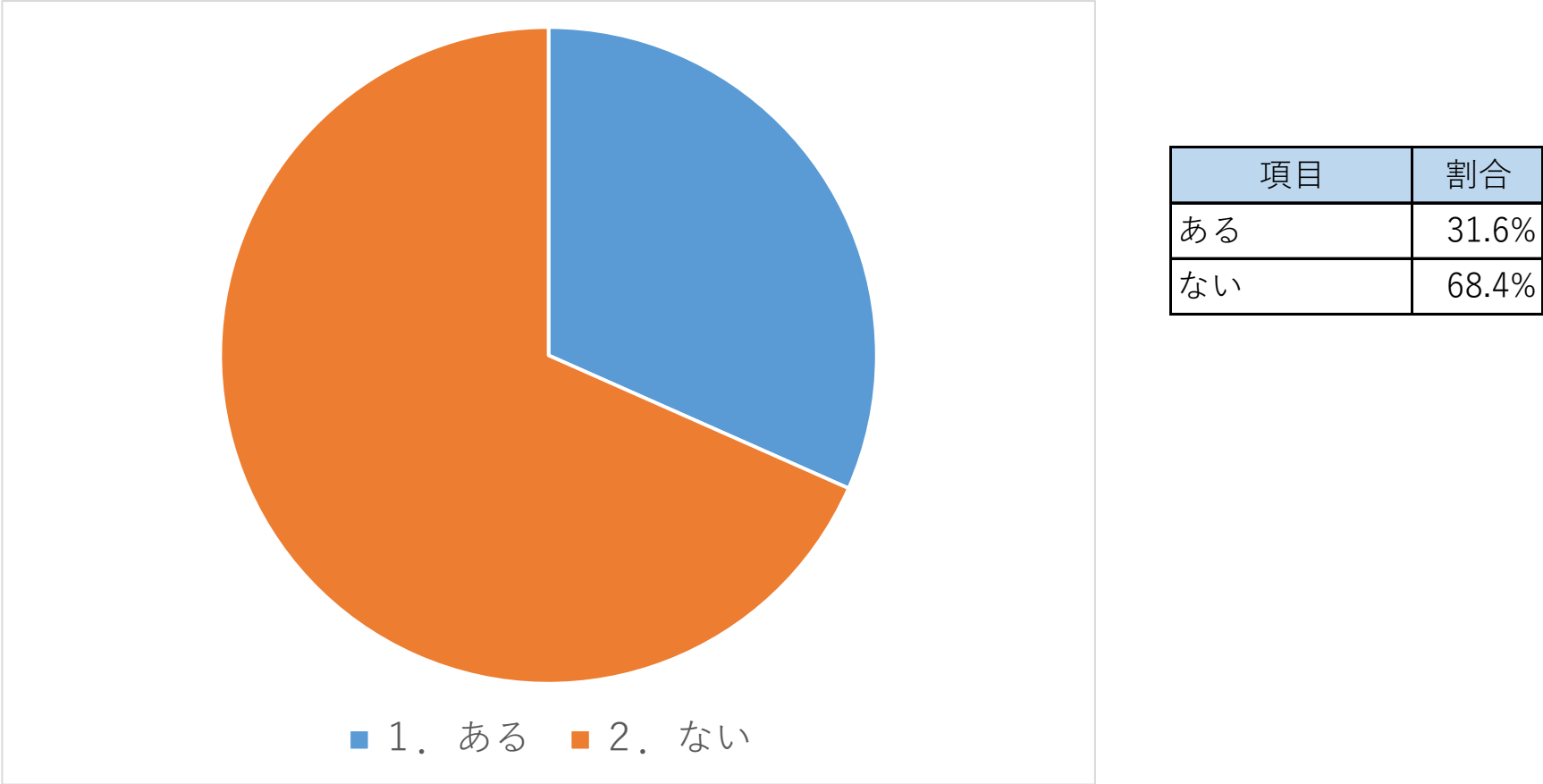
≪ 市民憲章に特に刻みたいと思われる内容やキーワードがあれば教えてください。 ≫

番号	内容
1	水を大事にすること
2	世代を通して、より良い市へ前へ進もう！
3	安全
4	”一人ひとりが大切にされる” ”一人ひとりの笑顔が輝く” ”一人ひとりが、誰かのために動ける”
5	子供を大事にする、あるいは守るための政策
6	ゆりかごから墓場まで、高島市に住んでてよかったと思える一生にしたい
7	自然、緑を守る
8	緑豊かなまち 人にやさしいまち
9	良知
10	市民活動を妨げない行政
11	自然の豊かさ
12	歴史を絶やさない
13	子供達の教育！！ 男女の格差（役割など）関係なく働く条件
14	絆、緑
15	『人生で本当に大事なものは何ですか？』それを高島市で見つけて下さい！！
16	社会的弱者（子ども、老人）に優しい街
17	すばらしい自然環境を守る
18	一日一善！！
19	人への優しさ
20	安心・安全な食文化
21	一体感のある住んで良かった高島市

22	美しい、きれいな 空、水、道、びわ湖、山
23	美しい街、住みやすい街
24	老若男女が暮らしやすく
25	四季を通した自然環境 中江藤樹先生の教え 他
26	「世界の共通語は笑顔」
27	自然豊かな明るいまち ともに助け合い高めあう 安心で安全な暮らし
28	たとえば平等について、本当に必要なものを必要な地域へ投じるのが平等と考えます。不要な地域に人口計算 や比例計算で決めるべきではないと思います。よって「正当・平等」
29	若者が住みたいと思う魅力ある活発な町を目指す。
30	高齢者（生活弱者）にやさしい町
31	”住みましょう 高島に 守りましょう 美しい自然を” 地球上の一点、高島に住み、高島を守り続ければ美しい自然は世界に広がることと信じます。
32	年寄りが美しく、生活ができる町
33	夢を追い続ける高島市
34	自然環境の保全
35	豊かさ、今あるもの、ヒト
36	少子高齢化にはしてはならない
37	貴い山、母なる琵琶湖、懐が深い、人情に厚い人々
38	思いやり、寄り添い
39	助けあい、支えあいのあたたかい社会を作しましょう 子供から高齢者まで、元気に健康で希望の持てる町を作しましょう 自然を守り、すみよい環境をつくりましょう
40	昔ながらの地域での交流が少なくなった現代社会は支え合う力が弱まっていると感じます。 そして田舎であるがゆえの独特のしがらみも若い世代を住みにくくさせています。
41	美しい自然や環境に親しみ感謝し、後世に守り残してく。
42	若者がこれからもずっと住み続けたい町 高齢者がいつまでも住み続けたい町
43	参加することに意義がある。
44	笑顔、元気
45	誇れる自然と自然にいかされる生活
46	自然と調和している町
47	ビワイチ
48	歴史文化の重畳、豊かな自然環境、四季のめりはりの良さ
49	循環の町、非核平和都市宣言の町
50	Human nature
51	伝統産業、豊かな心、歴史、観光資源、住み良い市
52	新旭なら清水 安曇川なら中江藤樹の教え とそれぞれの町がそれぞれに頑張っている事
53	毎日触れるゴミ袋に本当に高島市がやりたいことの言葉を書いてみたら市民に根付くのでは。
54	親切、思いやり ある市民
55	自然豊かな高島市 誰もが住みたいと思える魅力ある高島市
56	湖西の魅力を発信
57	笑顔で暮らせる高島市
58	これからの時代に合わせた伝承。 50年先を見据えた住環境造り。
59	つながり、絆
60	四季の豊かさ

61	先人の知恵や技術 教えを学ぶ 地域で助け合って 生活を営む 豊かな自然や文化コミュニティ
62	琵琶湖
63	虹の特産地
64	一期一会
65	SDGS
66	優しい
67	循環
68	住みよい町、市自然豊かで便利な高島市
69	連綿と紡がれてきた、ここにしかない豊かさ
70	水が煌めく
71	水、田園や里山の風景。人の暮らしと自然がほどよくマッチした場所。
72	伝統
73	愛
74	歴史・文化・豊かな自然
75	中江藤樹先生の教えみたいな感じでいいのでは？
76	致良知
77	ゴミすてると罰則
78	豊かな水と緑の自然環境を守り育てる。 すばらしい歴史と文化を守り次世代につなげる。 健康で、明るく、いきいきとした生活につとめる。社会が こどもたちを守り育てる意識をもつ。
79	めぐまれた自然を愛し、みどりゆたかなまちをつくれます。
80	健康・健やか・おもてなし・守る（自然などを）
81	びわ湖や里山の景観、ほど良い暮らしのできる場所
82	学而事人 学びて人に事(つか)える
83	「誇り」「夢」「希望」
84	高島市には、ゴミ問題が解決していないので、必ず市民1人1人がマナーを守れば、観光地なんだから、他府 県から来られる方達にも、マナーを守って頂く為にも、憲章にしてもらいたい
85	近江聖人中江藤樹。（安曇川だけかも知れないが……）
86	自己責任、健康寿命、安らげる故郷、絆
87	福祉に強い高島市
88	琵琶湖、箱館山
89	自然、優しい、つなぐ
90	顔の見える関係づくり
91	人にやさしい、自然にやさしい
92	四季折々の自然
93	変わる
94	絆 文化遺産の保護
95	「皆が笑顔で暮らせる高島市」になる事
96	自然豊か。
97	子ども
98	心のふるさと
99	自然と共に生きる高島市
100	五事を正すや学而事人など高島にゆかりのある人の言葉(意味)
101	思いやり
102	自然豊かで住みやすい。
103	自分の生き甲斐を、自分の未来の時間を、自分が設計できる高島市 やさしいまちたかしまし

【問 7】市制 2 0 周年で実施してほしい取り組みやイベントはありますか？（あてはまる項目に○印）



【問 8】問 7 で”ある”とご回答いただいた方にお聞きします。それはどのような取り組みやイベントですか？

番号	内容
1	市政に貢献した人々の表彰
2	マスコミに取り上げやすい内容
3	高島市の観光地、全部紹介しているカレンダーを全戸に配布してほしい
4	出来るだけ税金を使わないでほしい
5	湖上フェリーの運行
6	航空自衛隊の飛行ショー
7	自然及び産業の活性化
8	知っているようで知らないことがあるので各地域の食、産業、文化、伝統が一同に集まるイベントを開催してはどうか？
9	高島音頭、踊
10	市内の学生さんやサークル仲間にミュージックフェスタもしくは、中高年の方々にお声がけしていただき江州音頭等の盆踊りなど！
11	観光祭（地場産含む）
12	コンサート、花火大会
13	高島市の歴史に関する本を作る
14	以前あったような「市民夏まつり」 旧町村を期間を決めて、バトンの的に回るまつり
15	観光都市を目指して、湖岸整備をし、湖岸沿いや町中にベンチを1000個以上設置する。
16	イベントなどで一時的に騒がず、静かに粛々と過ごされたほうがよろしいかと思います。
17	多くの市民が集う事の出来る催し
18	市内をぐるっと観光で回れるようなスタンプラリー的なイベントを開催してほしい。市内外からも人が集まる様に
19	地区対抗の大運動会、大花火大会
20	コロナもだいぶ落ち着いたので 2 0 周年としてのお祭りみたいなことがあれば楽しい。
21	ひとりでも、はじめてでも参加しやすいお祭りの的なイベント。

22	<取り組み> 町→市への変化を合わらすもの。市の予算・事業・税等 良くなった事やいい方が悪いですが、悪化した事。 <イベント> 市全体一箇所にして、食べ物を出し合う（各町とか別のにしない）（有料） 他に文化的な行事、市内／1箇所
23	ご当地ナンバーの導入される事を願う。安曇川〇〇〇〇　とか
24	地場産物のアピールと販売を滋賀県のみならず、県外にも拡大、20周年にちなみ、20にこだわった値段にし、通常価格より値下げしての販売とする。（当たりクジ：お食事券ets.）場所：地場産およびJA駐車場
25	新旭町針江浜にも、小型のバスが来てほしい。
26	ジャズフェスティバル、花火大会
27	すばらしい自然環境を生かしたイベント。（持続的な情報発信）
28	植樹など自然に還元できるもの、受け継がれるようなモノ
29	大々的な各地区での花火大会
30	記念誌制作（街並みを多く）
31	写真展－過去から現在までの高島の写真を市民から募集し、市所有の写真とともに公開する。 ウォーキング大会－健康志向が言われている昨今、皆が歩けるような距離での大会もあるが、現在長浜市で開催されているような大規模な「ツーデーマーチ」を開催できないでしょうか 文化講演会－著名人の講演
32	市民の意識づけの為、市庁舎に「祝」のアドバルーンを上げる。 各種展覧会等に「市制20周年賞」を作る。 各戸に記念品（例　木苗、花、タオルなど）の配布
33	市内の旧町村毎の伝統の紹介（祭りなどの展示）
34	制定される市民憲章とその意義のPR、高島市の誇れる自然・行事・施設等の冊子発行
35	市内特産品を集めたフェスタ。市内特産品は食べ物に限らない。
36	朽木一周マラソン
37	イベントは無い。 イベントに金をかけるのではなく、新たな事業がイベントになる、いくつものイベントを生むなどそんな事業を考えるべきではないか。 かつてシャープが『千里よりも天理』と言って万博に参加せず、天理で液晶への取り組みに注力した。そして、液晶の新しい時代をひらいたと言う。
38	次世代の担い手である子供達が、自分達の町を考える場をもてる事業
39	春、夏、秋、冬において観光バスツアー計画のスタートイベント
40	地元の団体による演奏などがあったり、地元産業についてのお話が聞けたりするイベント
41	この間のブルーインパルスのようなみんなが集まって市民みんなが盛り上がるイベント。 全国で頑張っている成功している自治体に常にアンテナを張って企画してみては。じっとしていたら本当に高島市は30年後老人だけになってしまいそうです。
42	いろんな団体や店が集まって、高島市の魅力を伝える体験など、見て聞いて感じて食べて、いろんな時間を過ごせるイベント。2～3日程度の！
43	高島市の有名な食べ物を集めたフェスを行って欲しいです。
44	市民まつり（昔しんあさひ風車村で行われていた祭の復活）
45	長く観賞できる紅葉の植樹。マキノのメタセコイヤや桜並木のような紅葉の名所もあれば良いと思います。
46	少子化対策。高齢者が減っていくなら、子供を増やす取り組みは積極的にすべき。
47	市制の日とし祭り等の催し物
48	文化事業としては中江藤樹と陽明学の再認識と大洲市との交流会
49	何かイベントをして一度は高島市に来てくれるような集客イベントがあれば良い　昨年のブルーインパルスの様な企画が有れば最高でしょう
50	湖東のイナズマロックフェスに匹敵するような大きなイベントを20周年だけでなく毎年行う。
51	脱炭素
52	住所から旧町村名を削除すること。
53	フードフェスタの様な、地元は元より、全国の美味しいグルメを集合させて欲しい。
54	旧6ヶ町村の得意なこと苦手なことを知り　互いに認め力を合わせていけるような取り組み

55	陸上自衛隊今津駐屯地と航空自衛隊饗庭野分屯基地と連携したイベントの開催。
56	虹の特産地と自慢しても良い場所だと思えるので「レインボーフェス」
57	花火大会のようなお祭り
58	移動動物園
59	花や木々など気軽に散歩、散策が楽しめる公園を作ってほしい。
60	屋台やステージ
61	昔の暮らしの知恵を教育カリキュラムに生かす。地域との連携が薄れていっているので、継続的な取り組みとしてして欲しい。
62	また、ブルーインパルスなどのイベント、野外ライブ、または、花火大会
63	子供からお年寄りまで楽しめる祭事的な催しがあれば若い世代の市への興味や知識が深まると思います
64	もう一度ワールドランを呼んで欲しい
65	高島ウォーク。地元には詳しいガイドつきで棚田や湖岸、朽木の山村など高島の見所を歩いて散策する。白鬚神社やメタセコイヤ並木だけでなく、高島には誇れる素晴らしい場所がいっぱいあると思います。
66	祭りと花火
67	市内で行われるお祭りを一堂に集めて、『高島お祭りフェス』
68	西川貴教さんの、コンサート
69	イベント：旧の地図と今の地図を見比べるなど、この20年で変わったことがわかりやすいような展示
70	盛大な祭り
71	町別ではなく、高島市としての大花火大会。
72	再度ブルーインパルスの飛行展示又はF15F2の飛行展示 西川貴教の記念コンサート ファミリーレストランのライブ
73	記念スポーツ大会。文化祭。環境に関する記念講演会。
74	市民による豊かな森づくりのための植樹（植樹した一人ひとりが木々の成長を確認できて地域に愛着が湧くとともに、周年ごとにプロセスを追うことができる。また、将来的に自然資源や観光資源になるため）
75	思いつきませんが何かあればいいなと思います。
76	高島のそれぞれの地域の魅力を発信できるような取り組み。
77	高島市の将来はどうあるべきか 評論家や専門知識をお持ちのアドバイザーや大学の教授を迎えての講演会
78	高島市の存在を市外県外にP Rする取り組み
79	全地域で、日を決めて、ゴミ拾いと分別イベント 必ず、家庭から、1人は、出てもらう。出られない家庭は、お金を支払ってもらって、福祉に役立てる
80	功労者表彰などは要らないが、昨年あった、実施はたいへんだろうが、航空自衛隊のブルーインパルスの記念飛行や陸自・空自・海自3自衛隊音楽隊演奏会とか。再度お願いしたい。
81	地元の自然を知る散策（フットパス）
82	著名な芸能人に来てもらいたい
83	アイカの配布。市民への還元と生活の助け
84	文化芸術の振興、書道・美術展等の拡大開催
85	地域の古老たちから、この地域の生活や生業の中で育まれてきた知恵や技術を学ぶべるような機会が欲しい。 若い移住者の中にはそうしたことに関心を持っている人も多いので、長期的に講座のような形で、土地の古老と若い人々を繋げて、この土地の魅力を再発見しつつ、この土地について学んでいけるような機会が欲しい。 （炭焼きなどの山仕事、藁縄紬いなどの藁や植物を使った手仕事、川や湖での漁法、カンジキ作りなどなど）
86	発酵を生かしたカリキュラムやイベント。教育委員会はもう少し各種団体に対して柔軟に取り組みを。
87	フェスティバル的な各地域の特産品などを出すようなイベント 芸人さんと呼んでのお笑いライブ
88	誰もが参加できるイベント 例えば、去年自衛隊のフェスティバルがあったがそのような催し物を開催して高島市が一丸となっていく。
89	子供(保育園児)でも分かりやすい、高島市の良い所の紹介や参加型イベント
90	高島市の食文化などの文化を活かした食べ物のフェスや祭りや花火大会といったイベント。
91	メディアを巻き込んだ大々的な式典、高島市をもっと知ってもらう
92	空から高島市を観てみよう
93	花火大会の復活。

94	市民が気軽に参加できるイベント 食のイベント
95	市長、市議会議員のシンポジウム
96	滋賀県で一番ゴミの落ちていない街づくり
97	アイカのように地元民に特別に地元の施設や催事への招待や、金券のようなものの発行。新たな発見の為。
98	人が集まるイベント！ 夏祭りやバザー、体験教室など。
99	西びわこペーロン大会の復活
100	40周年に市のくらしの中心になるであろう20歳の皆さんの未来設計図
101	フリーマーケット

アンケートへのご協力ありがとうございました！